

心理学基礎文献研究Ⅱ

科目ナンバリング PSY-202

必修 2単位

元永 拓郎

1. 授業の概要(ねらい)

心の健康が保てなくなる時、それは心の悩みとして把握されたり、異常心理として認識されたりする。それらは臨床心理学によって学問の対象となっているが、その他精神医学、精神保健学、福祉学等のさまざまな学問領域で、実践と研究が積み重ねられている。

心理学基礎演習Ⅰでは、それらの心の健康が不調となった状態が、学問によってどのように把握され研究が進んでいるかについて、テーマ別に検討を行った。心理学基礎演習Ⅱでは、それらの知見も含め、心の健康の不調に対する支援について、その基本的な理解を深めるための学習を行う。精神分析や来談者中心療法、認知行動療法といった臨床心理学な支援理論に関して、理解を含めその考えを深い部分で理解する。臨床心理学的支援においては、サイコセラピー理論が基盤となるので、基本的なサイコセラピー理論の理解から始めるが、臨床心理学のみならず医学や福祉学等多学問が協働して多職種でのチーム対応が重要となるので、それらの多様な支援のあり方について学びを深めることとしたい。また、統合的な支援、コミュニティ支援なども、本演習で取り扱う予定である。

2. 授業の到達目標

- 1) 自ら必要な文献を収集し、内容を整理し、わかりやすく発表することができる
- 2) 心の健康の不調や精神疾患について概説するとともに、それらの対する心理的支援の特徴を説明できる
- 3) 心の支援に関する諸理論や支援方法について概説できる
- 4) 心理的支援に関する課題について、先行研究をもとに議論を深めることができる

3. 成績評価の方法および基準

授業内発表50%、小テスト30% レポート20%

到達目標に達しているかを基準とする

4. 教科書・参考文献

教科書

下山晴彦編 よくわかる臨床心理学 ミネルヴァ書房

参考文献

加藤進昌・神庭重信・笠井清登編集 TEXT精神医学[第4版] 南山堂

5. 準備学修の内容

テキストの次回授業範囲について十分に読み込み、授業で提示した学習課題に目を通し、自分自身の意見を記述して授業に臨む。授業内で発表され議論したことをふまえ、小テストにおいて自分の考えをまとめる。またレポートとして提出する。

6. その他履修上の注意事項

自ら文献を収集し、それを十分に読み込み、わかりやすい発表資料を用意し、授業内でわかりやすく発表し、それをもとに議論を深め、それらをふまえて学んだことを整理するという学習となる。臨床心理学や公認心理師の活動に関心のある人には、ぜひとも積極的に臨んで多くの学びを得てほしい。

この科目履修に際して、「臨床心理学概論」「心理学的支援法(心理療法概論)」「心理アセスメント(臨床アセスメント法)」の履修は重要となる。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス、分担とプレゼンテーション方法の確認
- 【第2回】 心理支援の概要、サイコセラピーの枠組み
- 【第3回】 インテイク面接
- 【第4回】 認知症支援の歴史の変遷と近年の動向
- 【第5回】 発表とディスカッション
- 【第6回】 発表とディスカッション
- 【第7回】 発表とディスカッション
- 【第8回】 発表とディスカッション
- 【第9回】 発表とディスカッション
- 【第10回】 発表とディスカッション
- 【第11回】 発表とディスカッション
- 【第12回】 発表とディスカッション
- 【第13回】 発表とディスカッション
- 【第14回】 サイコセラピーの統合的展開
- 【第15回】 まとめ、自ら学んだことの共有、ディスカッション